

JAXA の堀川理事が資料9-2(WINDS)を10分余で説明した後、4分程の質疑応答があった。(太陽センサに異常が発生したが、トランスファ軌道からドリフト軌道に軌道変換する間は正常に働いていた為、無事にクリティカルフェーズを終了した。此の後は慣性センサのドリフトを修正する為、1日1回程度使用する予定であった。予備系はセンサ自体が信号を出さなくなり、回復は不能。主系のセンサは機能しているが、処理系の何処かが原因で、異常値を示している。原因究明、機能回復、代替手段を検討している処である。)

松尾: 大体処置で何とか運用はこなせそうだと云うお話ですが、最近チョコチョコ出ますですね。それで、夫々の原因は夫々だと思ひ、それから上で起こった事は中々地上で明確に全てを決める事は難しいとは思ひますけれども、それにしても何かツウテイ(通体?)するものが有るんじゃないかと云う処は気になって¹おありまして、少なくとも地上の機能試験をパスしたものが上に行くとか何か起こしてしまうと云うのが続いているような気が致します。其れから、今回の場合は冗長系も、まあ、本来の冗長系がアウトになっちゃった訳ですから、まあ、色々何かツウテイする様な事が有るのかも知れないと云う気が致して居りまして、まあ、未だやり方その他考えておりませんが、宇宙開発委員会でも、まあ、

¹ 此れこそ管理と云うものであろう。また、JAXA も同じ様に、問題として深く吟味しようと考えていた事が重要である。上手く切り抜かれたから其れで良いとしていない。

何か其の辺についての検討する機会を設けてはどうかとチラッと考へて居ります。この辺は JAXA ともご相談して、どう云うやり方が良いのかは検討して行きたいと云う風に思つてます。

JAXA 堀川: そうですね。

松尾: 一寸そんな気が致して居ります。

JAXA 堀川: JAXA の中でも一寸チームを作って、此れまでの軌道上の不具合全体をサーベイして、共通的な問題が無いか、地上の試験のやり方に問題が無いか、点検したいと云う風に思つております。

松尾: 特に、地上試験で何を一体検査した事になつてるのかと。別に皮肉で言つてるんじゃないですよ。良く見て其の条件の違いみたいなものが、僕はポイントなんじゃないかと思ひますけどね。折角上手く云つた心算で上げたのが、上に行くところなんじゃ詰りませんから。

JAXA 堀川: はい。

池上: まあ、今の件は宜しくと云う事なんですけど、当座はあれですね、あの一、太陽電池からの発生電力を見ると、当初の予定をクリアしてる訳ですね。

JAXA 堀川: はい、そうです。

池上: そうすると、当初の目的は、故障の問題が有るにしても、一応達したと云う風に考へて宜しい訳ですね。

JAXA 堀川: 現時点でのドリフト軌道での機能と云うのは正常に機能していると云う、

池上: で、此れが若し、ホントにずっと駄目になつた場合に、太陽

電池のパネルが太陽を向かなくなると云う事なんですか²。

JAXA 堀川: はい、そう云う風になっても、地球センサで軸を定めると云う事と、サーチをすれば太陽電池パドルに太陽が入れば電力を発生しますので、其れで太陽方向の指向確認も出来ます。唯、其れは非常にラフですので、より正確な衛星の姿勢を確認する為には、今後電波の方での姿勢の確認と云う、特に沖縄からビーコン電波を衛星に出せる様になってますので、其れでの姿勢の確保と云うのも可能だと云う風に思ってます。

池上: ああ、分かりました。

森尾: 一寸技術的な事でご質問したいんですけど、慣性基準のジャイロを校正するってのは太陽方向を基準に校正するって云うのは当面出来ないんで、地球の方向で校正するって事ですね。ただ恐らく此の衛星の特徴の一つは、非常に絞った電波を狙った位置に照射するって事で、ハイレート、ビットレートの高い通信をしようと云うのがありますね。だから漠然と地球の方向がこっち³だって事が分かっただけでは全く不十分な精度だと思うんで、

JAXA 堀川: 仰る通りで。

森尾: 其れを補うのがあれですか、

JAXA 堀川: ビーコン電波で、

森尾: 今のビーコンでやる。

JAXA 堀川: はい。

森尾: 其れはどれ位の精度があるんですか。

JAXA 堀川: 0.1 度以下で、サンセンサでジャイロを校正するのとはほぼ同等の性能を提供して貰えるものと思ってます。

松尾: 御座いますか。それではどうも有難うございました。

² 太陽電池パドルを太陽に指向する為に太陽センサがあるとでも思っているのか。

³ 地球センサは確か地球の縁を見るのだと思うが、「漠然と」と仰るのは違う事を考えていらっしゃる様に感じる。地球センサの測定精度はどの位なのだろうか。